

### 東北大学キャンパスの空間線量率

石井慶造<sup>1)</sup>、長久保和義<sup>1)</sup>、寺川貴樹<sup>1)</sup>、松山成男<sup>1)</sup>、山崎浩道<sup>2)</sup>、菊池洋平<sup>1)</sup>

東北大学大学院工学研究科<sup>1)</sup>、東北大学サイクロトロン・RIセンター<sup>2)</sup>

#### 1. 目的

震災後、約1年経った現在（2月下旬から3月上旬）の東北大学キャンパスの空間線量率の状況を調べた。

#### 2. 方法

仙台市内の東北大学キャンパスをNaIシンチレーション検出器で測定した。

#### 3. 結果（平成24年3月21日発表）

図1に測定結果を示す。空間線量率（1m）はほとんどの場所で毎時0.1マイクロシーベルトを切っている。

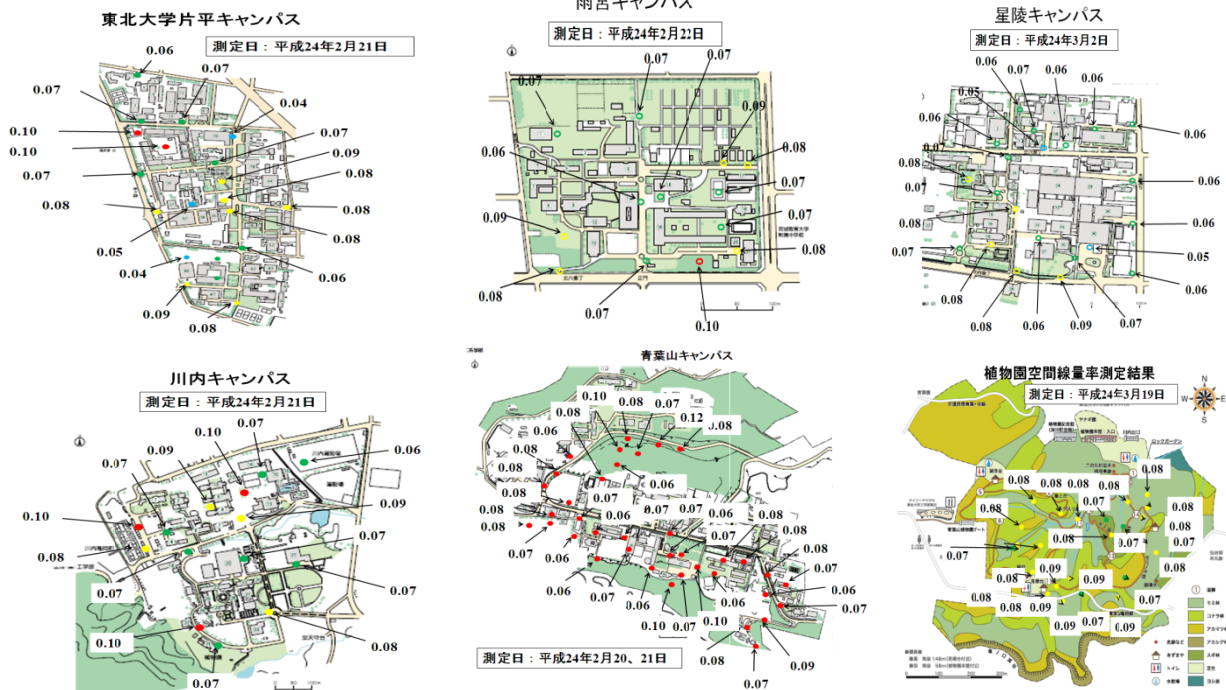


図1 仙台市内の東北大キャンパスと空間線量率

作成者：石井慶造